

令和5年度病害虫発生調査速報第2号について

このことについて、次のとおり発表したので送付します。

令和5年度 病害虫発生調査速報 第2号

1. 病害虫名： せん孔細菌病

2. 対象作物： モ モ

3. 調査結果の概要

- 1) 4月21、24、25日に行った県内主要産地における発病調査では、発生圃場率が100%（4月下旬平年：59.4%）、発病葉率は5.4%（4月下旬平年：3.5%）であり、発生圃場率、および被害葉率ともに平年よりも高かった。（第1表）

第1表 モモにおけるせん孔細菌病の被害状況について

発生圃場率						発病葉率																	
年度/月旬	4月		5月		6月		7月		8月		年度/月旬	4月		5月		6月		7月		8月			
	下旬	中下旬	中旬	中旬	下旬	下旬	中旬	中旬	下旬	下旬		中下旬	中旬	中旬	下旬	下旬	中旬	中旬	下旬	下旬			
2013	38.9	83.3	88.9	94.4	44.4	2013	6.7	3.4	2.0	7.1	3.6	2013	6.7	3.4	2.0	7.1	3.6	2013	6.7	3.4	2.0	7.1	3.6
2014	88.9	100.0	100.0	100.0	100.0	2014	2.8	8.3	8.5	8.4	28.9	2014	2.8	8.3	8.5	8.4	28.9	2014	2.8	8.3	8.5	8.4	28.9
2015	50.0	88.9	94.4	94.4	100.0	2015	2.9	6.0	7.1	11.8	64.8	2015	2.9	6.0	7.1	11.8	64.8	2015	2.9	6.0	7.1	11.8	64.8
2016	55.6	94.4	100.0	100.0	100.0	2016	1.3	4.2	15.1	30.3	36.4	2016	1.3	4.2	15.1	30.3	36.4	2016	1.3	4.2	15.1	30.3	36.4
2017	16.7	88.9	83.3	72.2	100.0	2017	0.5	2.7	5.3	7.1	16.0	2017	0.5	2.7	5.3	7.1	16.0	2017	0.5	2.7	5.3	7.1	16.0
2018	77.8	94.4	100.0	94.4	94.4	2018	5.1	6.6	9.3	6.1	11.0	2018	5.1	6.6	9.3	6.1	11.0	2018	5.1	6.6	9.3	6.1	11.0
2019	72.2	94.4	77.8	94.4	94.4	2019	1.1	2.9	2.9	4.2	11.5	2019	1.1	2.9	2.9	4.2	11.5	2019	1.1	2.9	2.9	4.2	11.5
2020	55.6	100.0	100.0	100.0	100.0	2020	1.2	9.4	8.1	7.1	8.2	2020	1.2	9.4	8.1	7.1	8.2	2020	1.2	9.4	8.1	7.1	8.2
2021	83.3	100.0	100.0	100.0	100.0	2021	5.6	13.7	11.5	8.8	20.6	2021	5.6	13.7	11.5	8.8	20.6	2021	5.6	13.7	11.5	8.8	20.6
2022	55.6	94.4	100.0	100.0	100.0	2022	7.5	11.8	7.5	9.0	13.0	2022	7.5	11.8	7.5	9.0	13.0	2022	7.5	11.8	7.5	9.0	13.0
2023	100.0					2023	5.4					2023	5.4					2023	5.4				
平年値	59.4	93.9	94.4	95.0	93.3	平年値	3.5	6.9	7.7	10.0	21.4	平年値	3.5	6.9	7.7	10.0	21.4	平年値	3.5	6.9	7.7	10.0	21.4
少-やや少	32.8	87.2	84.4	84.7	72.3	少-やや少	0.3	2.2	3.1	1.0	-0.6	少-やや少	0.3	2.2	3.1	1.0	-0.6	少-やや少	0.3	2.2	3.1	1.0	-0.6
やや少-並	48.5	91.1	90.3	90.8	84.7	やや少-並	2.2	5.0	5.8	6.3	12.4	やや少-並	2.2	5.0	5.8	6.3	12.4	やや少-並	2.2	5.0	5.8	6.3	12.4
並-やや多	70.3	96.6	98.6	99.2	102.0	並-やや多	4.7	8.8	9.6	13.7	30.4	並-やや多	4.7	8.8	9.6	13.7	30.4	並-やや多	4.7	8.8	9.6	13.7	30.4
やや多-多	86.1	100.6	104.5	105.3	114.4	やや多-多	6.6	11.6	12.4	19.0	43.4	やや多-多	6.6	11.6	12.4	19.0	43.4	やや多-多	6.6	11.6	12.4	19.0	43.4

4. 防除対策

- 1) 薬剤防除を実施していない園では香川県果樹研究同志会防除暦（香川県監修）を参考に早急に防除する。
- 2) ストレプトマイシン剤を使用する場合は、収穫前日数に注意する。
- 3) 例年多発する園地では果実への感染を防止するため、早めに袋かけを行う。
- 4) 発病枝や生育不良枝は伝染源となるので、見つけ次第除去して適正に処分する。
- 5) 発病菌は葉や果実の自然開口部（気孔、水孔等）や傷口から侵入するので、風当たりの強い園地では防風ネット等の防風対策を施すとともに、コスカシバ、キクイムシ、モモハモグリガ等の害虫防除を徹底し樹勢低下を防止する。
- 6) 同一病原菌によって発生するスモモの黒斑病も多発生が予想されるので注意する。



図1 葉の症状



図2 春型枝病斑



図3 果実の症状

近隣農地の作物等や住宅地等での農薬飛散防止の注意が必要です。
風の状況を確認し、飛散のおそれがあるときは散布作業を中止しましょう

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう

病害虫防除所インターネットホームページ

URL: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/byogaichuboj/index.html>

